

平成27年度「未来づくり説明懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月28日（木）午後7時～午後9時
□会 場	植公民館
□参加者	町側11人、地区側34人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ

同趣旨のため省略（5月8日（金）宮津公民館参照）

3. 「住民税1%町民予算枠制度」について説明（政策協働課長）

わくわくコラボ事業・わくわくアイデア事業について

制度の概要説明及び募集要項に沿った各事業の説明及び応募促進型講座の紹介をする。

4. 地区からの提言・質問事項についての主旨要約

質問（1）空き家・老朽家屋が増えてきて、災害時や子供の通学路にも障害が出始めているので今後、解体するのか、再利用するのか、どのように考えられておられますか。（植）

答）空き家の管理につきましては、本来、所有者が管理するものでございます。家屋が壊れて道路の通行に支障をきたすような場合には、建設環境課までご連絡をいただければ、現地確認や所有者等の調査をしまして、所有者等に適正な管理を指導させていただきます。

「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が完全施行されましたので、今後法律にのっとって進めて参りますが、特に通学路など危険な場合は、町が解体するまで規定されていますので、それに従い対応したいと考えております。（建設経済部長）

関連質問）空き家の現状把握はどこがやるのですか。国勢調査まで待つということですか。町としてはやらないのですか。（植）

答）国勢調査まで待たなくても、現在でも建設環境課に随時ご連絡を受けておりますが、残念ながら町としては、人員等の問題もあり調査をしておりませんので、現状把握はしておりません。過去、24年6月に区長さんをお願いして調査をさせていただきましたが、その時点では町内で10件ぐらいでした。その後、高根台で1件別途報告がありましたので、11件は、町として把握しておりますが、それ以外はしておりませんので、地区からご連絡いただければと思います。（建設経済部長）

つまり、秋まで待たなくても、現状で困っているところがあれば、随時受けますということですが、町としてやるかやらないかは、国調に合わせた形でやりたいと思っています。

その時には、情報を取りまとめますが、困っている場合は情報をいただければ対処しま

すのでよろしくお願いします。(町長)

関連質問) 空き家問題で、すでに1件お願いしているところがありますが、その時点では法律ができていませんでしたので、町でできることは、どのようなことかお尋ねしたら、手紙を出して、その地権者に対応していただくことしかできませんと言われました。

その後法律が制定されて、国調に合わせてというお話がありましたが、阿久比町として、調査後も地権者に指導するだけということですか、それとも、手紙だけでなく強制力があるような方法が期待できるのでしょうか。(植)

答) 法律が全面施行されていますが、この中で町の責務として、空き家対策についての方針を策定しなければならないということになっております。

まず、その施策を作って方針を決めなければ、最終的な法律にのっている行政代執行までしにくいと。ようするに、手紙を出して指導して、勧告、命令で、最後は行政代執行になるわけですが、そういう準備段階、流れのようなものを方針策定することになっていて、これを作らなければ最後の手段までたどり着けないだろうということですよ。

指導ということは随時やっています。連絡いただければ、現地を見て、所有者を調べさせていただいて、案内をすることをやっています。

法律を施行する前もやっていましたが、個人情報保護法に触れる行為でありましたので、この辺は、法律ができたことによって正当化されることになりましたので、今は、その段階でございます。(建設経済部長)

質問(2) 113号線(農免)の側溝が埋まり、道路の舗装もはがれてしまっている。

排水機能がなされていないので、少しの雨でも道路に水が溢れ出て車、バイク・自転車の運転。人の歩行が危険であるので側溝並びに舗装を早急に改修して頂かないと事故の原因になりかねないです。

そこで、全面的な道路補修並びに愛知用水の幹線の入れ替えはどう考えていますか。(植)

答) 113号線の排水対策には、町としても大変苦慮しているところです。

道路面の高さより、農地をかさ上げし、また、法面の草刈りや土側溝の管理が適切に行われていないことで、このような状況が発生しているものと考えます。それぞれの地権者の方には、土側溝や草刈りなどの適切な管理にご協力をいただきたいと思います。

町としましては、交通事故のないように道路の補修を行ってまいりますので、地権者の方のご理解ご協力をよろしくお願いします。

植大地区の愛知用水工区管は、鎗場池から野崎交差点まで、延長3,142mで、口径400ミリから300ミリの塩ビ管が、当道路の区間では南側の法肩に、昭和62年ごろ設置されたと承知しています。

土地改良事業によって整備された農道や、農業用排水路等の農業用施設の維持管理については、その施設の受益者が協力して行うものであって、町が維持管理を行うことは考えておりません。このことは、過去の町議会における一般質問でもお答えしているところです。

当道路の愛知用水工区管についても、老朽化による更新については、受益者が協力して行うものと考えています。

植地区では、地域の農業者と一般住民が共同で、農地、農業施設の維持管理を共同で取り組む、多面的機能支払活動組織の設立準備が進んでおりますので、その活動の中でこの愛知用水工区管の長寿命化に取り組むこともできると考えています。(建設経済部長)

関連質問・要望) 多面的機能支払交付金制度に乗って対応してほしいということですが、まさに植地区もこの制度を活用しようということで、来月(6月)16日に設立総会を行う準備を進めている段階でございます。

しかし、地元管300mmから400mm、総延長3,142mと先ほどおっしゃっていましたが、たとえば、これを長寿命化対策の補助項目で整備しようと思っても、田んぼの場合4,400円/10aということで、面積が確定しておりませんが、たとえば30haのエリアとしてやる場合、年間1,400千円ぐらいの金額になるのでしょうか、それをやろうとしても、3,142mの長寿命化対策で現在入っているところが町道113号線ということで、幹線道路に入っているのです、億を超える多額なものになるのではないかと思います。

多面的機能支払交付金でやろうとした場合、先ほど言いました年間百数十万円としても、100年かかる訳です。

とてもその期間をかけてやるということはできないので、何とか町の知恵を拝借しながらどうしたらいいかという相談に今後とも乗っていただいて、効率よく長寿命化の対策工事ができるようにしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。(植)

答) 担当課にご相談いただきますようお願いいたします。(建設経済部長)

質問(3)「植公園・権現山」を阿久比町の観光名所として観光協会・観光課としては今後、どのように展開していかれる計画ですか。

今年度より矢勝川の飛び石の計画も実施予定になっております。(植)

答) 矢勝川をはさんで、権現山の対岸である半田市岩滑地区においては、平成20年から「童話の村秋まつり」が始まり、平成25年からはイベントの名称を「ごんの秋まつり」と変えて実施されています。

本町では、「NPO法人のもやい」が当初から実行委員会に加わり、イベントに参加されています。また、「矢勝川の環境を守る会阿久比地区会」の皆さんを中心に、中学生や町内企業の従業員の皆様などボランティアで矢勝川の堤防にヒガンバナの球根を植える活動を進めていただいております。

このような中、本町も平成21年からオブザーバーとして実行委員会に参加し、阿久比町側の観光資源である権現山への誘客について、「あぐいふるさとガイド」の皆さんにご協力をいただきながら取り組んでいます。

平成25年度からは、新美南吉のふるさととしての取組を次世代につなげていくため、「南吉の里ネットワーク」がたち上げられ、さらにこの3月には、行政の区域を越え、事業効果と発信力を高めるため、「NPO法人ごんのふるさとネットワーク」が設立されたこと

お聞きしています。町及び観光協会としては、このような半田市におけるNPO法人や町内の「ごんげん山保存会」、「あぐいふるさとガイド」などの活動と連携して、権現山を多くの方に知っていただけるよう努めたいと考えています。

今年度は、「ごんげん山保存会」によるご提案の「ごんげん山周辺観光案内看板等設置事業」について、町民税1%事業の採択を受けましたので、「ごんの秋まつり」までに完了させたいと考えていますので、ご協力をよろしくお願いいたします。(建設経済部長)

質問(4) 今後の高齢者対策として今年度から住民福祉計画はどのように展開されるのですか。(植)

答) 今後の高齢者対策として今年度から住民福祉計画はどのように展開していくのか?とのご質問ですが、

地域福祉計画は今年3月に策定した計画ですので、簡単に地域福祉計画の説明をさせていただきます。

先月4月1日号の広報と一緒に、阿久比町地域福祉計画の概要版を全戸配布させていただきました。この地域福祉計画は、子どもから高齢者、障害の有無にかかわらず、すべての地域住民の安全・安心・安定を実現するため、今後の阿久比町の福祉についてまとめた計画です。

今後、益々の高齢化を考えますと、高齢者に必要なニーズをすべて公的な支援や保険制度でおぎなうことは困難であります。自助、互助をふくめ、地域で支え合っていくことが重要であります。

「すべての人が地域で共に生き、支え合う「つながる」まち、あぐい」を基本理念として、地域住民、事業所、社会福祉協議会、行政などがそれぞれの役割の中で、みんなが力を合わせ、つながって支え合って、だれもが住みやすいまちにしましょう。というものです。

計画には3つの基本目標を定めました。

1つ目に「みんなでつながって、孤立をなくそう。」

2つ目に「みんなでつながって、交流や支え合い活動に参加しよう。」

3つ目に「みんなでつながって、交流や支え合い活動の担い手になろう。」

この3つの目標を達成するために、現在行われている施策や今後実施していく施策をまとめました。

計画を実施するにあたり、町全域、小学校区、地区の3つの圏域を設定し、取り組む施策の内容を地域の実情に合わせた、最も効果的な範囲において柔軟に取り組んでいきます。

高齢者対策としてどのように展開するのか?とのご質問ですが、

高齢の方には、医療や介護サービスだけでなく、日常生活に安心感が持てるような地域社会、孤立しないような支援が必要と考えます。

切れ目のない見守る体制、困りごとを抱えた人を発見しやすく、支援できるネットワークを作るには、高齢者の方により身近な、地域の皆さんや、民生委員さん、福祉事業所や団体の皆さん、社会福祉協議会、行政が連携し、つながることが必要と考えます。地域、組織がつながるための研修会や話し合いの場を設けて取り組んでいきたいと考えています。

また、各地区では、いろいろな交流や支え合い活動が、それぞれ個別に展開されています。例えば、小地域福祉活動の見守り活動、サロン活動、いきいきクラブの友愛活動や宅老所などがあると思いますが、地区での交流や支え合い活動を推進し、それぞれの活動に参加しやすくするための支援、体制作りにも取り組んでいきたいと考えています。これには地域での協力者（地域福祉推進員）の育成も重要な課題と考えます。

また、活動をまだ行っていない地区におきましては、地区での交流や支え合い活動が立ち上がるように、立ち上げに向けた調整や支援をしていきたいと考えています。そのような活動についての理解啓発のため、住民福祉懇談会などを開いて情報提供にも努めていきたいと考えています。

また、高齢者の皆さんは支援されるだけの存在ではありません。元気な高齢者が地域の担い手となり、より一層元気に活躍していただくことも大変重要なことと考えています。

町内のさまざまな人が、いろいろな場所で、交流や支え合い活動の担い手として活躍できるように、担い手の育成を進めるため、幅広い世代への情報提供や研修会などを開催して、活動に参加しやすい地域の仕組みを作っていきたいと考えています。

いずれにしましても、地域とのつながり、支え合いの施策の推進には、自助、共助、公助への理解が大変重要です。

計画の推進、地域とのつながり、支え合いは、町行政と社会福祉協議会だけでは展開できません。区長さんはじめ地域の皆さん、民生委員さん、いきいきクラブやボランティアの皆さんなど、それぞれの役割の中で、力を合わせ、つながり、支え合って、「すべての人が地域で共に生き、支え合う「つながる」まち、あぐい」の実現に向け、皆さんのご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。（民生部長）

質問（５）野崎の交差点の交通量が年々増加して、名鉄のガードを越してまで車が続きま
すので、事故に繋がりがねますので早急に対策を願います。

半田・横松からの道路は今後どのように計画されていますか。（植）

答）野崎の交差点は、東から西方向の交通量が増えており、ガードまで並ぶことがあります。しかし、環状線の整備計画につきまして、環状線は愛知県の施行事業であり、名鉄河和線との交差方法、県道阿久比半田線との交差方法について、現在、愛知県にて検討されております。

今後も、早期着手していただくよう、県や県議会など関係機関に要望してまいります。交差点につきましては、もうしばらく待っていただきますようお願いいたします。（建設経済部長）

質問（６）環状線の早期着工を希望します。植大地区と半田、乙川方面の出入り路は現在、
県道しかありませんので不便であり、また、大災害を想定した場合、緊急路確保のため早
期着工を検討してください。（大古根）

答）環状線の整備計画につきまして、環状線は愛知県の施行事業であり、名鉄河和線との交差方法、県道阿久比半田線との交差方法について、現在、愛知県にて検討されております。

す。

今後も、早期着手していただくよう、県や県議会など関係機関に要望してまいります。
(建設経済部長)

質問(7) 大古根墓地の阿久比町移管検討を進めさせていただいておりますが、阿久比町管理になった場合、各種工事が発生した場合(例えば、再測量、塀の設置、他)、費用負担の考え方をお聞かせください。(大古根)

答) 大字所有の墓地については、法律上問題があるため、所有者の移管を進めております。その後、大字への管理をお願いすることになり、増設の申請・許可、管理上の手続となります。管理等につきましては大字となりますので、費用負担については、大字でお願いしたいと考えています。(建設経済部長)

質問(8) 植大(大古根)地区は過去、幾度かの浸水被害を経験しております。地元にとっては喫緊の問題ですので、浸水被害対策について、阿久比町の短期構想、中長期構想についてお聞かせください。また、これに関連して半田池の現状についてお聞かせください。(大古根)

答) 半田池について、昨年から半田市との共同事業ということで、地権者並びに半田市の担当者と打ち合わせを重ねてきましたが、整備完了後の施設や水の管理などで半田市と考えが合わず、結果的に阿久比町が単独で池を取得することは断念しました。

今後は、地権者がどのように開発を進めるのか明らかではありませんが、開発によって災害発生の可能性が高くなるようなことがあってはなりません。本町の開発指導要綱や土壌汚染防止条例の規定に基づき、災害の発生などを未然に防ぐよう適正な指導をしてまいります。(総務部長)

浸水対策について、昨年度、県において、地元の大字さんには説明会や意見聴取をさせていただき、矢勝川除塵機修繕計画を策定しており、今年度、除塵機の改修が予定されています。また、阿久比排水機場の更新計画も今年度より始まります。

中長期的には、県の策定する阿久比川・十ヶ川整備計画の中で、十ヶ川の大古根地区内に調整池設置の計画もされております。(建設経済部長)

質問(9) 植大駅駐輪場について、夏場の除草、屋根の設置(近隣市町では、駐輪場に屋根付きが出てきている)整備を検討してください。また、放置自転車の撤去基準等の「駐車場運営要領」があれば教えてください。(大古根)

答) 植大駅駐輪場は、名古屋鉄道からの借地を整備しており、現在のところ屋根を設置する計画はありません。

本年度より、駐輪場監視業務をシルバー人材センターに委託し、この駐輪場監視員が自転車の整理を行っています。夏場に線路との間の未舗装のところからつる草などが駐輪場側に伸びてきますが、これに関しましては、役場職員が見回ったときに対応しています。

放置自転車の撤去につきましては、「阿久比町放置自転車等の発生の防止及び適正な処理

に関する条例」に基づき、定期的に駐輪場を見回り、長期間放置されていると思われる自転車等について、警告札をつけ、注意喚起をしています。それでも移動されない場合は、処分を行っています。(総務部長)

5. 参加者との懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

質問) 狭あい道路の解消並びに交通マナー・ルールの遵守など、どのような事業推進を考えているのかということで、現状、植は地区も広く、狭い道路は植地区以外にもたくさんあると思いますが、いままで大きな事故は発生していませんが、ひやっとする事故になる寸前のことは、過去からたくさんありました。

毎年のように退避場所を設置してほしいと区長から要望してもらっていますが、なかなか受けてもらえないと聞いております。

小冊子の中に安全、安心、安定という言葉が載っています。是非、安全安心を確保できるような対策をお願いしたい。カーブミラーも予算が決まっているということですが、区民の安全安心のために、ねばって交渉してほしいし、カーブミラーがだめなら看板をつけるのも方法ではないかと思います。(植)

答) 交通事故は車、自転車、歩行者等のいずれかの不注意により発生すると考えています。

一人ひとりが、交通ルールを守り、普段から、周りの状況に気を配ることにより、事故は防げると考えていますが、現実にはなくなっていません。

町では、毎年、保育園や幼稚園、小学校で交通安全教室を開催し、交通ルールについての啓発活動を行っています。高齢者につきましても町内9会場で、交通安全教室を開催し、啓発活動を実施しています。今後も機会あるたびに交通安全を呼び掛けてまいります。交通安全の看板等は、防災交通課に言っただけであれば、一度現場を見させていただき、付けた方がいいかどうかを検討させていただきます。看板を立てることで、反対に見通しが悪くなることも場所によっては多々ありますので場所をご連絡いただければと思います。(総務部長)

狭あい道路解消の整備事業は、道路幅員を4mにするために道路後退(セットバック)をお願いする事業でございます。道路後退部分については、地権者の方にご寄附をいただくか、町で買い取りをさせていただくか、地権者の方の自己管理の3種類の方法で対応しております。

町としましては、自己管理は難しいので、寄附または買い取る方向で狭あい道路の解消を考えていますので、地権者の方のご理解ご協力をお願いします。

カーブミラーにつきましては、区長の申請によりますが、予算が決まっておりますのでよろしく申し上げます。(建設経済部長)

質問) カーブミラーは年間何本とか決まっているのですか。(植)

答) 実質町内で6本ほどの予算しかとっていません。(建設経済部長)

質問) その辺は、増やしていただけますか。(植)

答) 要望としてお受けします。(建設経済部長)

質問) 狹隘道路につきまして、昨年度の未来づくり懇談会では、予算920万円、今年は、620万円になっています。昨年より300万円減っていて、決算上の金額は承知していませんが、実際今年度の見込みはこれぐらいという予算なのでしょうか。

これは、建築確認時に道路後退が発生した場合に取り組むだけなのか、たとえば、地区から地主との話をまとめて町に申し込めば、狹隘道路整備促進事業で整備がしていただけるのか。この予算につきましては、国から1/2補助があると思っていますがその辺をお答えいただきたいと思います。(植)

答) 実際、建築確認申請と完了検査時にセットバックできていないと、認められないということで、建築時に一番わかりやすいのでやる人が多いですが、その他にこの道路が狭く、建築には関係ないけどセットバックしますとおっしゃっていただければ、町は対応したいと考えていますので、言っていただきたいと思いますが、予算もありますので、予算の範囲内でやらさせていただきます。もし、その年度で予算が無い場合は、翌年度でも対応させていただきますのでよろしくお願いします。

それから、この事業につきましては、国の補助金が入っています。ですから年度内に登記までいかないと、この事業の対象になりませんので、できれば1月末ぐらいまでには申出をしていただきたいと思います。

今年減った分につきましては、昨年度の実績がかなり少なかったということです。(建設経済部長)

補足説明です。狹隘道路のために、国の補助金を使うことを数年前から取り入れました。

取り入れた時、私は、もっとたくさんの方がこの制度を使うと思っていました。

しかし、ふたを開けてみると、下がってはくれるのですが、売らずに自分で管理する方が多く、理由は何故かつかめていませんが、最初に制度を始めた時とは意味合いが違ってきました。

セットバック以外については、総合計画を作った時にも思ったのですが、町として、全部を広げることは不可能なので、「すり替わりができる待避所にするから」と地区の方が地主と話をし確保していただけるのならば、一度交通量等を調べさせていただいて、町として必要だと思えば、補正予算を付けるのは難しいですが、次年度の本予算に出していただくとか、そうゆうふうに進めていきたいので、地域との共同でやっていかなければ阿久比町の道は広がっていかないのかなと思います。

大字阿久比の公会堂前の工事にも入っていきますが、拡幅で土地を分けていただけるところを広げていくという形で対処していきますので、植だけでなく高岡、大古根でもそういうところがあると思いますけどそういう形でやっていくしかしょうがないと私は考えています。(町長)

質問) 未来づくり懇談会としては2年目で、その前はまちづくり懇談会ということでこの会がもたれてきていますが、一向にその内容の改革・改善が進んでいないと思うのですが、今回、未来づくりということだと、少し将来に向けての話があってもいいのではないかという気がします。

最初の町長の話にもありましたとおり、今年は、第5次総合計画の中間年度になると思うのですが、私の当時の計画づくりの一部に携わりましたが、この総合計画の中間年度にどうなっているのか、あまり見えてこないし、今月、阿久比町地域福祉計画、同じく3月に第6期阿久比町高齢者福祉計画が配られましたが、これを一般の方に理解していただけるような資料になっていて生かされているのか、何も考えずに、ただ配ったというだけのもの終わってしまっているような気がして、その意味で、まず、総合計画中間年度に当時の委員にどのような状況になっているのか説明をしていただき、さらに、そこから後残りの年度の中で、どのように進めていくことが阿久比町の未来づくりになっていくのか考えていただきたく。一つの話題にしていますが、その点でご検討いただければということで提案をしております。(高岡)

答) 総合計画策定に携わっていただきありがとうございました。今の総合計画は、平成23年度から10年間の計画です。この平成27年が終了すると丁度半分が終わったということになりますので、今年度中間のまとめを出したいと思っておりますが、今現在のいくつかの項目について、お知らせしたいと思います。

中間でどのようなものが達成できているかといいますと、人口と世帯につきましては、中間の平成27年の目標では、人口26,500人、世帯でも9,330世帯でした。これに対して、最終目標の28,000人と10,000世帯というものが、半分ですでに達成しました。

これは、陽なたの丘の団地開発が大きな要因だと考えております。

それから、市街化率の中間目標は17.7%で最終目標は19.1%ですが、中間目標は丁度達成しています。

橋梁の耐震、長寿命化につきましては、中間目標は50%ですが、現在の実績が50%です

ため池改修率は、中間目標100%、現在実績100%となっております。

上水道の有収率は、中間目標94%、最終が95%ですが、現在実績94.41%ですので、中間目標は達成しておりますが、最終目標には届いておりません。

公共下水道への接続率は、中間目標85%、最終は90%ですが、現在実績83.8%ですので、中間目標には若干届いていない状況です。

消火栓設置数は、中間目標422基、最終は431基ですが、現在実績431基ですので、後1つですので、これは達成できる見込みです。

防犯灯設置数は、中間目標2,500灯、最終2,650灯ですが、現在実績2,534灯ですので、これは中間目標には届いております。

子ども総合支援センター利用者数は、中間目標18,000人、最終20,000人ですが、もうすでに21,270人で最終目標を超えています。

ボランティア登録者数は、中間目標800人でしたが現在の実績は660人となっております

り届いておりません。

各種ガン検診受診者数は、中間目標6,500人、最終6,800人ですが、現在実績7,408人となり、最終目標を超えています。

国民健康保険加入者1人当り医療費は、平成21年度当初288,000円で、中間目標271,000円、最終的には258,000円で、現在323,000円ですので、この医療費につきましては、大きく遅れをとっている状況です。

という訳で、すでに中間目標を超したものは、市街化率、橋梁の耐震化、ため池改修などで、それ以外でも大部分のものが最終目標を超えています。

ただ、超えていないものもありますので、後5年の間には何とか達成できるようにしたいと町としては考えていますのでよろしくお願いします。(総務部長)

質問) できた、できたではなく、できていないところで、住民の皆様が困っている内容の方をしっかりと説明してくれたほうが、皆さんががんばろうという気になると思っていますので、その辺をメインにご説明いただきたいと思います。(高岡)

答) 先ほど申し上げましたとおり、今年が中間年度で、今から考察に入ることになっております。私が今お答えした数字は、26年12月議会の時に議員からの一般質問に代表的なものをお答えしております。

それ以外のものも、総合計画の中にはたくさん数値目標が定めてありますので、それについては、今年度かけて考察し、その後公表できればと考えています。(総務部長)

質問) 先ほどの植地区の質問の高齢者対策として住民福祉計画に関連しますが、以前介護保険課がやっていた事業の宅老所なのですが、宅老所を利用していた高齢者が、若干支援の度合いが上がり、ディサービスを利用することになりました。

ただ、その利用者は、ディサービスに行きながら、宅老所にも行けると思っていたのですが、介護保険のディサービスを利用すると、地域の宅老所には行けないと説明を受けました。

先ほどの住民福祉計画の中で、みんなでつながって孤立をなくそうという話があったのですが、二者択一をせまられまして、ディサービスを利用している高齢者の方は、どうしても地域から孤立しがちであるという訴えがありましたので、もし、通所できるのであれば、宅老所にも利用させていただきたいと、思っております。(棕岡)

答) 私は、そのような話は聞いていないのですが、私が思う地域福祉計画は、孤立を無くそう、地域で見守り支え合って生きていこうという計画を進めたいということで、社会福祉協議会とも町とも連携して、新たな担い手を発掘しようということで動いているところですが、今言われたとおり、ディサービスに通っていても、宅老所に通うことができるのであれば、私は是非参加していただきたいと思いますが、その辺りのルールとか、宅老所の運営自体は、町が地区のボランティア団体に委託でお願いをしているので、そちらの取り決めなのか定かではありませんが、一度持ち帰っていい方向の対応ができるように検討していきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。(民生部長)

質問) 今年に関しては、まちづくりについての提言・質問というものは高岡としては、ここに書かれておりませんが、内容について皆さまと討議して、未来づくり懇談会という名義についての質疑応答という形で討議させていただきました。

その中で、今の内容を加味してみると、役場の方から色々な未来についての意見、具体的な方策を聞かしていただいて、それに対しての意見をこちらの方から言う。逆に、こちらの方から挙げて、ここが悪いですよ、あそこが悪いですよというものに対しての討議ですと、初めの題名と違っているのではないかという感じがいたしました。

今回、高岡としては、これを第一に挙げることに、これに対して、討議していただければという形をお願いしたのです。これを挙げて、他の意見などを挙げてしまっておかしくなる。小さな地域ですので、お願いすることについては、役場の方に一つ一つお願いしながら詰めていくつもりではいるのですが、今回のまちづくり懇談会ということ自体が、名前がいいのか悪いのかは解りませんが、その辺の討議を聞かせて頂ければと思います。(高岡)

答) 昨年度の行政協力委員会で、区長さん達から未来づくり懇談会に対しての意見交換させていただきました。その中で、出てみると、ドブ板行政ではないですが、地区を回って地区の困りごとを聞いているやり方から、今、高岡さんがおっしゃったようななどのような町にして行こう、それにはどのようにして行こう、住民としてもどのようにしようか、というような建設的な会にした方がいいのではないかというご意見もありました。

そこで、今年は、皆さま方に未来づくり懇談会についての意見を出していただいたということもあります。

これは、議会で未来づくり懇談会に名前を変えたたん、吊し上げを食ったことがあります。ある議員からは、1年に1回幹部連中が来て、俺たちの言うことだけを聞いていればいい。町長のあいさつなんか知らない。というぐらいのことを言われました。

私が答弁した中では、町側としての発信する責務というものが最近、強く言われるようになってから、最初のお時間をお借りして、あいさつの時に現状だとか、色々なこととお話しさせていただきますよと。そして、その後に皆様方からいただいている質問についてお答えして、残った時間について今言ったような形にもっていきたい。と言ったのですが、そうしましたら、かなり行政協力委員会の中でも批判が出ました。

今年、各地区を回ってみると、これをテーマとして投げかけたからかもしれませんが、今、高岡さんがおっしゃるように、やり方は違いますけれど、「未来についての建設的な話をみんなでざくばらんにやっていきましょう。」という、私たちが未来づくり懇談会に名前を変えた時の目的趣旨と同じになってきたということでもあります。

ですから、今後、来年にしても行政協力員さんの意見を聞きながらどのような形で進めるかということを決めていきます。そこで、私がいさつでしゃべらせていただいた中に色々阿久比町にとっての問題点、このようなことが困ってきますよというようなことを、私としてはオブラートに包みながらしゃべらせていただいた部分があります。

町行政として、こちらが抱えている問題を皆さんに問いかけるというのもひとつの方法かもしれませんが、逆に皆さま方から、将来の阿久比町に対してのご意見等も聞かしてい

ただきたいし、今後お互いがそのような形で進めていくというのは、私は賛成であります
が、一度、議会で責められておりますので、前に戻った形に修正し、私の持ち時間、こち
らからの説明時間を少なくする形でやらしていただいているというのが、現状であります。

高岡さんからは、今回3点意見をいただいておりますので、来年度に向けて相談させて
いただきます。ありがとうございました。(町長)

質問) 野犬対策のことですが、昨年もたくさんの野犬が捕まえられたと思います。今年に
なって私も知多半島道路付近で遠目ではありますが、野犬と思われる犬を見たことがあり
ます。 まだまだ、野犬もいると思いますが、今後の対策を教えてくださいと思いま
す。(植)

答) 野犬の捕獲方法は、色々考えられますが、動物愛護の観点から檻を設置して捕獲する
方法しか現在認められていません。

ですから、町としても檻を設置して、捕獲に努めているところです。

町は10基の檻を所有しております。その他に半田市にあります愛知県動物保護管理セ
ンター知多支所にも何基かあり、町のパトロールで野犬を見つけたり、地区の皆様から情
報をいただきましたら、檻を設置しております。

野犬を見つけたり、捕獲しようとした場合、危険ですからあまり手を出さない方がよろ
しいので、役場へ連絡いただければ、檻を持って走っていきますのでよろしく願いま
す。

また、大字単位で、檻の貸し出しもいたしますので、個人にはお貸ししにくいのですが、
ご要望があれば建設環境課にご相談いただきたいと思います。よろしく願います。

今年の捕獲実績としては、はっきりは覚えておりませんが、100には届かず、87ぐ
ら이었다と思います。

毎年結構つかまっております、少なくなっていることは確かです。

今年も捕まえていますが、今年のペースより若干減っています。今年は30ぐらいた
と思いますが、半年たっておりませんが、若干量は減っています。

しかし、子ども(犬)は捕まるのですが、大人(親犬)が捕まらないのです。頭がいい
のか、ずるがしこいのか親が捕まらないので中々減っていかないのが現状です。(建設経済
部長)

質問) 権現山の観光資源ということで出されていますが、私も矢勝川の彼岸花の時には、
殿越橋のところでボランティアをやっているのですが、非常に厳しい。阿久比の権現山が、
ごんぎつねの故郷だという考え方はまだまだ浸透していない。南吉自身の本の中にも出て
こないものですから、その説明をするのに厳しい。同時にそこから矢勝川の堤防から権現
山まで行くルートは、かなり距離があって、普通の人達はなかなか行かないです。

あの間にか何かがあれば別です。階段を上がって権現山の公園まで行って、何かがあるか
というと、そんなにもない。見るべきものがそれほどないというのが、観光に来た人達の
意見です。

その辺をどう考えていくのか、阿久比町がここを観光化していこうとするならば、相当

考えないと、うまくいかないのではないかという現状です。是非町としても、矢勝川から権現山までいくあのルートの中で、何等かの観光的なものを設置していくということも含めながら、考えていかなければいけないと思います。(草木)

答) たしかに、観光客の方は、矢勝川の彼岸花を見て、遠くにある権現山を見て、「その風景が、南吉が見た風景だな。」と、いうことを感じていると思います。

ですが、権現山に来ると、植公園があるだけで、上にあがってもただの広場があると。中段には、昨年、ごんげん山保存会の皆さんに石造などをやっていただきました。そのようなものを順次整備をしていくということが良いのでは。

今、ここの玄関を入ってきた時に、右側にキツネの写真がありました。あれは、多分、日本福祉大学の先生が、定点カメラを設置して動物が来ると反応して写真が撮れるというもので撮ったと思います。

私の考えですが、人が集まると、キツネは野生の動物ですので逃げてしまいます。

それが、観光資源としていいのか、それともそっとしておくのがいいのか。

権現山をどうしたいのかということもありますが、遠くから見てあそこが権現山で、あそこにいたキツネがこんぎつねだなというイメージも1つの観光の目玉になるような気がしています。

ですから、何も人が集まってわあわあやるために、あれもやり、これもやりというのは観光ではないと私は感じています。風景をいかに大事にしていくかを考え、観光にしているかどうかと考えております。(建設経済部長)

阿久比町は昨日、観光について、国の予算を使って、観光資源をどう掘り起こすかということで、業者選定をするための委員会が開かれました。それを聞いてみて、どうしても農業観光ということにどこの会社も出してきてしまいました。だいたい体験型。

体験型はいいけど、どれだけの客を呼び、リピーターとして呼べるか。阿久比町にお金が落ちるのかということも非常に難しい。

ですから、今、部長が答えた、古き良き田舎の田園風景が、という答えだったのですが、彼岸花の時に人を集めるだけなら方法として、権現山の近くに駐車場500台を用意すれば、人は集まります。

それが、一番お金をかけてやるにしても確実かな。また、駐車料金を取ればもっといいかなとは思いますが、集めるだけに特化すればそうですが、残念なことに民間の中で、まだそこまで動いてきていない。

植地区には造り酒屋さんが1件ありますので、その造り酒屋さんに行き、権現山、そしてとなりに、西狐谷池という名前がいいと思うのですが、そのようなところを少し散策ができたり、駐車場ができたり、トイレは権現山の上にはありますが、そのような形でこれからどのようにしていくか。

阿久比町の今の考えとしては、草木の花かつみ園とその池を中心としたところ、南の方では、やはり権現山と西狐谷池を一体とした形で、矢勝川の岩滑地区と一緒にネットワークを今は考えています。

しかし、植地区の方々が、がんばってくれましてので、堤防から見える権現山もだんだんきれいになりましたし、PRを町として行っていくために、がんばって看板設置等をさ

せていただきたいと思っております。(町長)

発言) 権現山について、今回町の予算で、1m80、90のマップも作って頂きまして、先ほど言われましたけれど、矢勝川からこちらに来る案内看板、あと何mで権現山に行くという

看板を作りましたし、今度まつりの時には、垂れ幕も作らせていただきましたし、町長の助言がありました、キツネが出没するという立て看板も作りました。

先ほど写真のことも出ていましたが、キツネは、先ほどの野犬が住んでいる山の方について、権現山に遊びに来るという感じで、西狐谷池とか亀坂という坂を横断しているということで、あそこには住んでいなくて、こちらに遊びに来るとというのが日本福祉大の先生の話でわかっていますので、私も部長(建設経済部長)の考えと同じで、あそこで何かをやるのではなくて、森林浴をして歩いて渡るとか、そのようなことでいいのではないかと感じています。岩滑で花を見ていただいて。

BS朝日の黒柳徹子さんの1時間番組で、「美智子さんが愛した権現山」ということで、佐田啓二さんの娘の中井貴恵さんがあの階段を昇ってきて、本堂の前で朗読をされたというビデオを私は持っています。そこで、かたつむり(でんでんむしのかなしみ)の音読をしています。

地道にやっていくということで、先ほど町長が言ったとおり人を入れるのは簡単だと思いますが、流れでもいいのではないかなと思います。阿久比町には名所がないですからその点を少しでも処理したらいいかなとも思っております。(植)

6. 閉会あいさつ

本日は、貴重なご意見、ご提言をいただきありがとうございました。ひとつでも町政に反映していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上で、平成27年度未来づくり懇談会を終了します。(副町長)